

## JALグループで北海道内初となる、 「FRY to FLY プロジェクト」が中富良野町に初上陸

～廃食油を回収し、国内資源循環による脱炭素社会実現にむけた取り組みを広めます～

JALグループは、2050年のCO2排出量実質ゼロに向けて、省燃費機材への更新、運航の工夫に加えて、SAF (Sustainable Aviation Fuel: 持続可能な航空燃料)の活用を掲げており、その一環として国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「[FRY to FLY プロジェクト](#)」に参加しています(\*1)。

(\*1)2023年4月17日付プレスリリース第20006号『国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「FRY to FLY Project」に参加』

URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202304/007357.html>

# FRY to FLY Project

廃食用油

空を飛ぶ



この度、北海道内でJALとして初めて、中富良野町で実施される「～なかふらのゼロカーボンフェア2023会場～」のJAL展示コーナーで、家庭や店舗で使用された食用油(植物性食用油)の回収を実施します。使用済み食用油から将来、航空燃料「SAF(サフ)」(\*2)を作る取り組みを広く知っていただく目的で、資源循環や脱炭素について、身近にある廃食用油から自分事としてとらえていただく機会を提供いたします(\*3)。

(\*2)従来の航空燃料に比べて二酸化炭素排出量をおよそ80%削減することができます。

(\*3)今回回収する廃食用油は、レポインターナショナルに引き渡しバイオディーゼルの原料として活用されます。なお将来的にこの取り組みは、家庭や店舗で使用された食用油を回収し、SAF製造を行うサプライチェーンに入っていきます。

### 【概要】

回収日時：2023年10月1日(日)10:00～15:30

回収場所：中富良野町農村環境改善センター「ゼロカーボンフェア JAL展示コーナー」

回収対象：使用済みまたは賞味期限(未使用)の常温の液体の植物油

JALはこれからも、本プロジェクトや「[ACT FOR SKYの活動](#)」を通して、国産SAFの商用化および普及・拡大に取り組んでまいります。

